



どんなとくちょうが
あるかのう？



ぜんこうじ ほんぞんみえい 善光寺本尊御影について

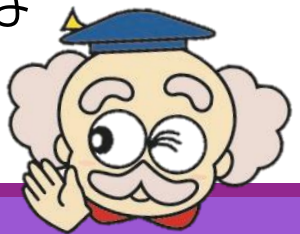
※ここで紹介する御影はすべて当館所蔵品(佐々木コレクション)です

ぜんこうじ ほんぞん みえい
善光寺本尊御影



しなの ぜんこうじ ほんぞん あみだ さんぞん
信濃善光寺の本尊 阿弥陀三尊
ぞう ぜったいひぶつ じつぶつ み
像は、絶対秘仏なので実物を見
ることはできません。そのかわ
り、^{まえだちほんぞん}前立本尊や^{た もこくぞう}その他模刻像、
^{みえい ふだ よ はんが}また御影(札)と呼ばれる版画が
たくさんつくられました。

おみやげとして、^こ
またおまいりに来れない人のために、^{ひと}
たくさんつくられたんじゃな





それでは

ぜんこうじほんぞんみえい
善光寺本尊御影の

とくちょうをさがしに

しゅっぱつじゃ！

あみだによらい 阿弥陀如来

みぎて せむい いん
右手施無畏印



「おそれることはない」
というメッセージじゃ



ひだりてとういん
左手刀印



「ねがいをかなえましょう」
というメッセージじゃ
よがんいん いっしゅ
(与願印の一種なのじゃ)



※善光寺仏の左手は下に垂らした
ものが多く、本図のように腹前
で仰向けるものは珍しい形です。

かんのんぼさつ 観音菩薩

ぼんきょういん
梵篋印



ご ふる
サンスクリット語 (古いイ
ことば きょう
ンドの言葉) のお経がは
はこ いみ
いった箱という意味じゃ



けぶつ
化仏



かんむり
冠のなかに
ちい
あみだ
によらい
如来が
いるのじゃ



せいしぼさつ 勢至菩薩

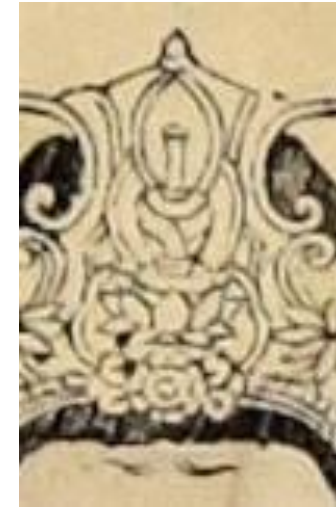
ぼんきょういん

梵篋印

かんのんぼさつ
観音菩薩とおなじ
て
手のかたちじゃな



すいびょう
水瓶

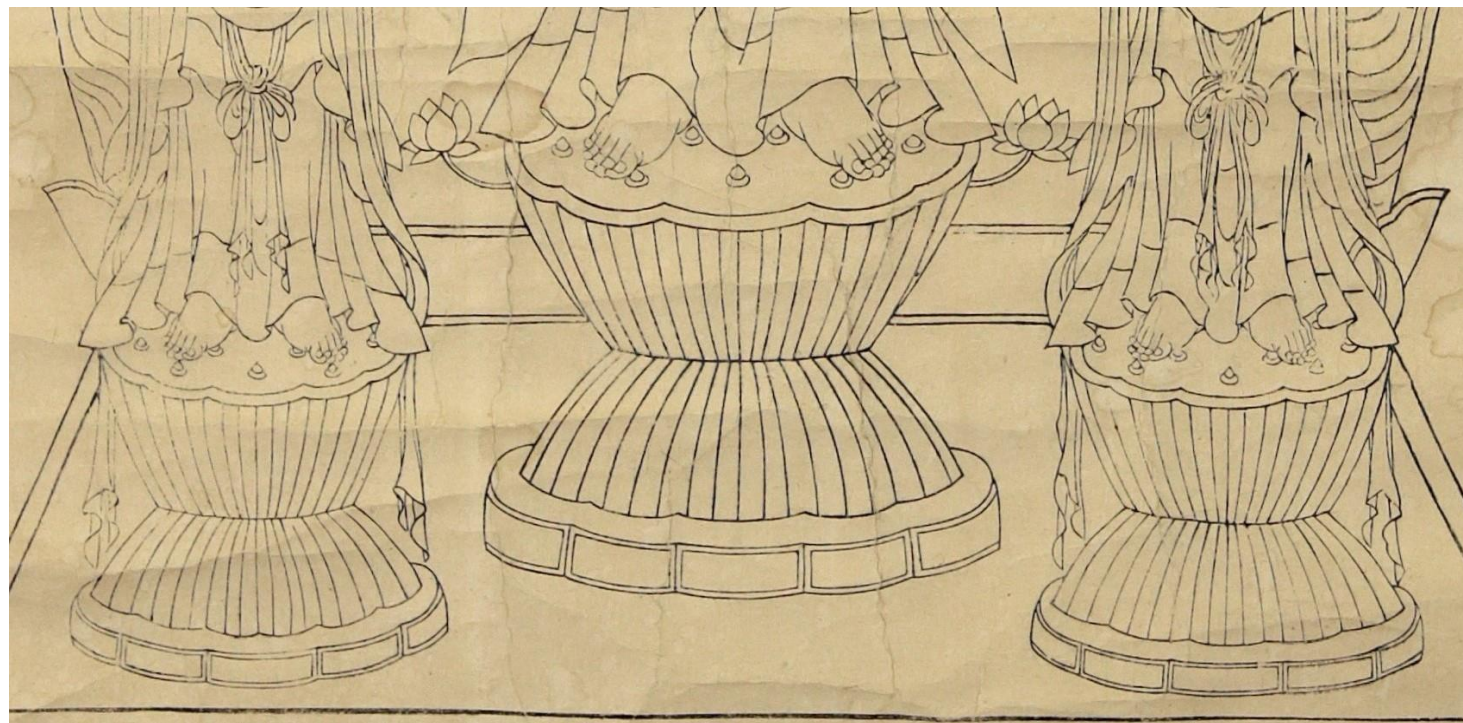


かんむり
冠のなかにきれいな水が
みず
はいつた**びん**があるのじゃ

うすぎ 臼座

れんげ しべ
蓮華の蕊の
ぶぶん かさ
部分を重ね
とくしゅ かたち
た特殊な形

です



しんしゅう
信州にやってきたぜんこうじさんぞん
うす うえ
はじめは臼の上につられたと
いうおはなしがあるのじゃ



こうはい 光背

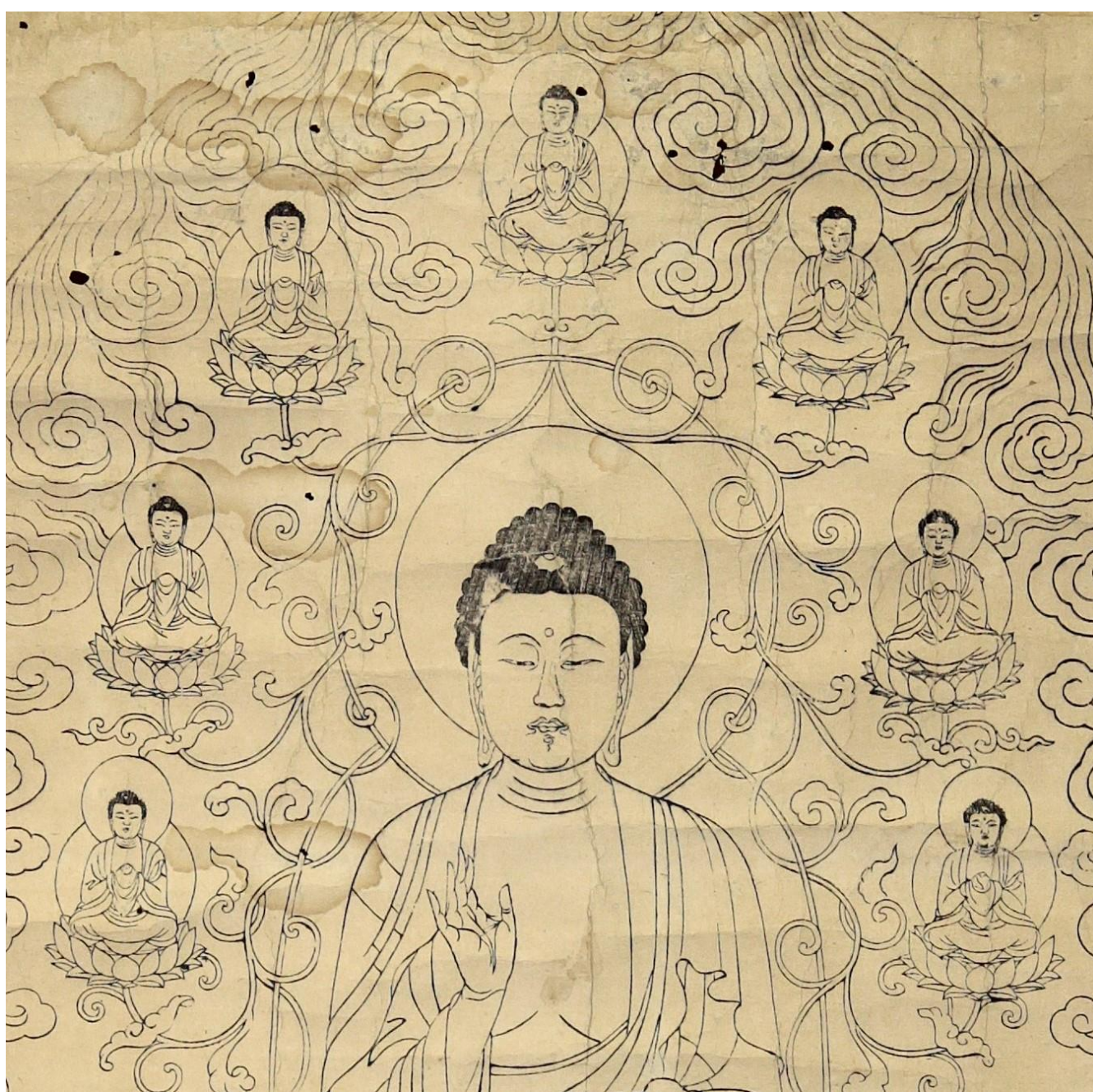
さんぞん ひと おお
三尊で一つの大
こうはい せお
きな光背を背負
とくちょう
うのが特徴です
いっこうさんぞん
(一光三尊)



こうはい
光背のまわりには、モクモク
とした^{くも}雲のもようがあるの
じゃ

しちけぶつ 七化仏

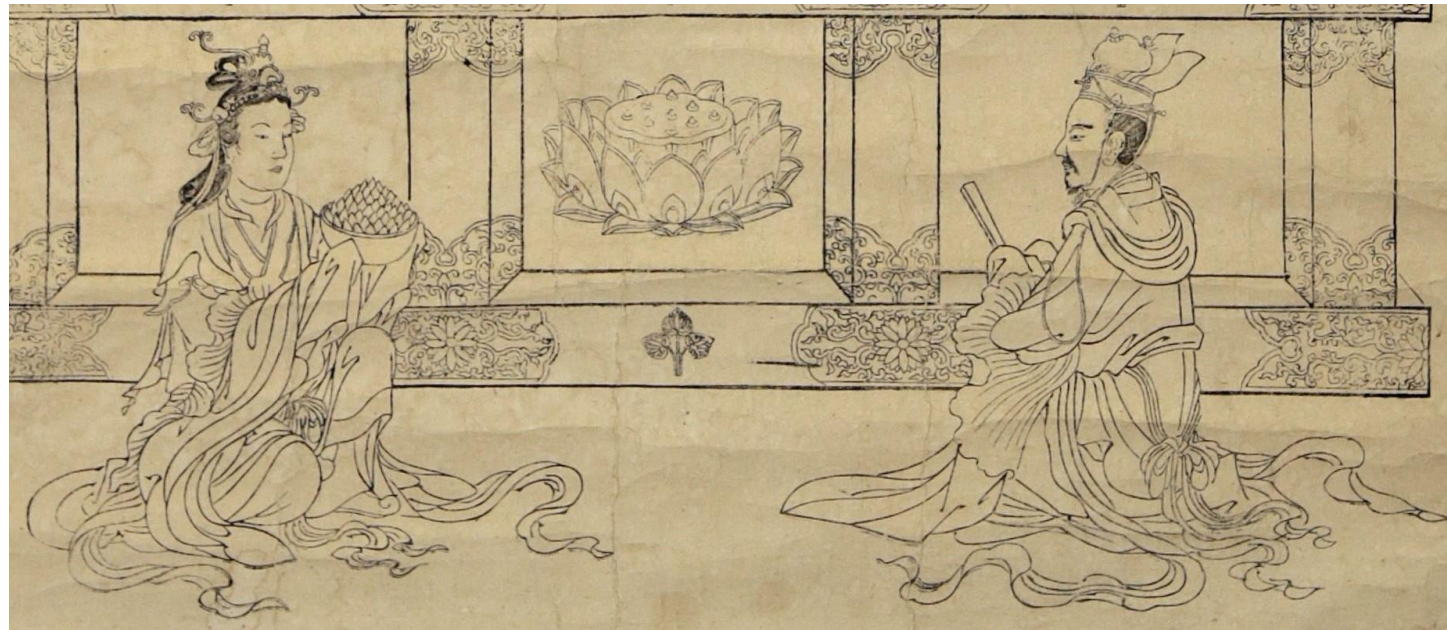
つるがのびて7
れんげ
つの蓮華がひら
うえ ちい
き、その上に小
ほとけ すわ
さな仏が座って
います



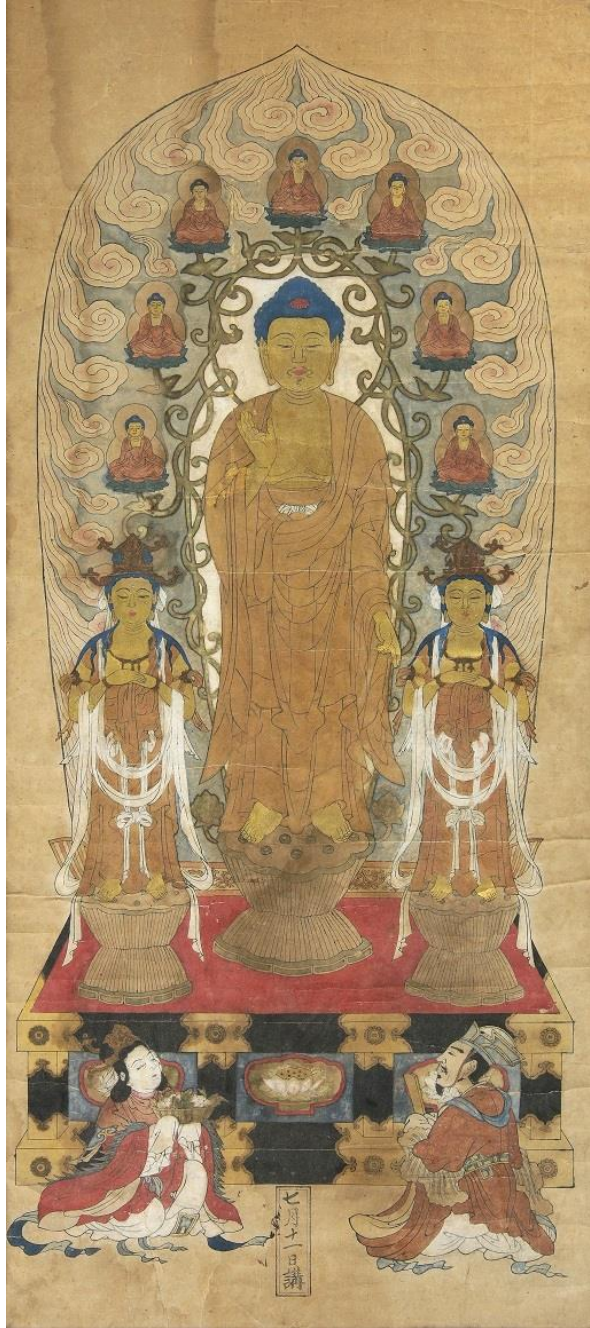
しちけぶつ しちなん
七化仏は、七難を
け しちふく う
消し、七福を生む
といわれるのじゃ

がっかいちょうじゃふさい 月蓋長者夫妻

あみだ さんぞん
阿弥陀三尊をお
だんじょ
まつりする男女
すがた
の姿で、インド
がっかいちょうじゃふさい
の月蓋長者夫妻
だとされます



あみだ によらい
阿弥陀如来のおかげで娘の病気が治った
がっかいちょうじゃ
月蓋長者は、あみだ さんぞん すがた りゅうぐう きん
うつ
で写しとった。それが善光寺三尊だとい
うおはなしじゃ



ぜんこうじさんぞん ほか てら あみ
 善光寺三尊は、他のお寺の阿弥
 ださんぞん とくちょう
 陀三尊とはちがう特徴がいつぱ
 いあってとても個性的なのじゃ。
 がつかいちょうじゃ とうじょう
 月蓋長者も登場する「善光寺縁
 ぎ 起」という物語を調べてみても
 おもしろいぞい。

